

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年3月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103482
法人名	医療法人 友志会
事業所名	グループホーム 玉里
所在地	鹿児島県鹿児島市玉里団地二丁目5番1号 (電話) 099-220-3115
自己評価作成日	平成28年2月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年2月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・運営母体が内科循環器内科のクリニックで在宅療養支援診療所の届出をしており、月2回医師の訪問診療が受けられる為、病気をお持ちの利用者にも安心してお過ごせ頂きます。

・お元気にお過ごし頂けるよう、1日30品目の食材料を使用して、高齢者むけのお料理を提供するよう心がけています。

・当事業所は玉里団地中央の住宅地域の一角の3階建てビルの3階部分でホームの窓から自然を満喫できる。1階は母体医療機関とデイサービスセンター、2階は同法人のグループホームとなっている。周囲には商店街や銀行・郵便局・飲食店・バス停留所等があり、利便性が高く、日常の外出で買い物、外食なども楽しめ、地域の人々とも挨拶や会話を交わす環境である。

・母体医療機関とは24時間医療連携体制が整っており、緊急の場合も迅速な対応ができています。看取りについても本人や家族の意向を確認しながら支援する体制がある。

・食材料は1日30品目を使用しており、バランスの良い食生活を支援している。利用者の状態や摂取力・習慣に応じた支援を行い、水分の摂取にも配慮がある。食前の嚥下体操や口腔ケアに力を入れて残存能力を高めている。

・災害対策として、定期的に避難訓練を実施し、安全対策の整備もなされ、梯子車による訓練も実施している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は玄関に提示しておりモットーの目配り、気配り、心配りをミーティングで話し日々実践できるよう努めている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた独自の理念を作り、玄関に提示し、モットーの目配り・気配り・心配りと共に朝のミーティングや職員会議等で確認し、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	中学生の職場体験学習の受け入れ、友人の面会などや朝夕の挨拶をしている、地域周辺の掃除をしたり、毎日の食材を地域の商店やスーパーで購入し交流を図っている。	町内会に加入し、地域の行事や清掃活動に積極的に参加している。散歩や買い物の際には挨拶や会話を交わしている。食材は地域の商店で購入し、地域の認知症の相談にも対処するなど、日常的に地域と交流している。中学生の職場体験やボランティアの受け入れなども行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方から認知症の介護方法申請の仕方など、いろいろな相談を受けた際は施設長が対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>町内会長や民生委員の方が大変協力的であり、意見を下さるのでサービス向上に役立っている。</p>	<p>当会議は定期的を開催している。事業所の状況や外部評価の報告がなされ、毎回、課題を提起して意見交換をしている。利用者受け入れについてや夏祭りについて等、意見はサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>定期的に介護相談員を受けいれている、生活保護の方が入居して居られるので保護課の方が来られた時に必要に応じて相談している。</p>	<p>市の担当者とは、必要に応じて電話や窓口に出向き利用者の相談や情報を交換して助言を貰っている。生活保護の担当者とも連絡し合っている。介護相談員も受け入れ、市主催の研修会には積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束を行わないということを定期的に職員は研修し正しくそれを認識しており身体拘束のないケアを実践している。</p>	<p>身体拘束廃止委員会があり、ニュース等の事例を示して定期的に勉強会を実施し、拘束をしないケアを実践している。玄関は昼間は施錠せずに職員間の連携で安全な暮らしを支援している。言葉の拘束にも気をつけている</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日々のケアの中でどのような事が虐待にあたるか、研修の時に話す機会を持ち防止に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度について学ぶ機会を持ち活用できるようにしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>時間をかけて丁寧に説明している。特に利用料金や入居によるリスク、重度化看取りについての対応、医療体制の実情について詳しく説明している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>職員は利用者と話す機会を多く持ち、思いを聞くようにしている、また介護相談員の方のご意見や家族会でのご意見も参考にしている。</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞いている。家族からは面会時や電話・家族会等で来所された時に近況報告をして思いを聴いている。市介護相談員との面接の結果も参考にしている。出された意見や要望は職員で話し合い、日々のケアに反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎朝のミーティングでは入居者の状態報告だけではなく職員の意見、提案などの話し合いの場にし運営に反映させている。</p>	<p>管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを図り、ミーティング等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。利用者の居室の意見があり検討している。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>家庭との両立がしやすいよう希望する日に休めるよう配慮し職員が働きやすいようにしている またすべての職員が希望通り年休を取得している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>定期的な法人内での研修及び研修案内（法人外）によりそれぞれの段階に応じた研修を受講する機会を確保している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域ケア会議やグループホーム連絡協議会に加入し研修に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	御家族からの情報や本人が困っていることや要望に耳を傾け、気持ちの表現がしにくい方からは表情や声掛けからの反応から気持ちを理解する努力をし安心感を持ってもらえるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族や本人の希望や意向を聞き事業所としてはどのような対応ができるか常に話し合っ、ご家族へは面会時職員のほうから要望うあ困り事のヒヤリングを行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族の希望を第一に考えどのような支援が必要か適時話しあっている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の希望や気持ちを十分に理解することに努め、日々の生活の中でケアを通して共に支え安心感のある関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族の面会も多くあり食堂や居室で一緒に時間を共有しながら、共に利用者を支えるための知恵を出し合っけてゆける関係の保持に努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出を希望される時はご家族の協力をお願いしている。（買い物・正月・墓参りなど）	親族や馴染みの友人・知人の訪問の際にはお茶を出すなどして継続的關係が途切れないよう働きかけている。電話や手紙の取次ぎなども行っている。家族の協力で外出や外食・墓参・理美容院利用・温泉行など、支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の相性や個性や關係性を常時把握し必要に応じてスタッフが間に入ることでスムーズなコミュニケーションが出来るよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの關係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ほとんどの方が看取りを希望されているため途中でサービス利用が終了することはないが、死亡退去及び転院後にもご家族の相談に応じている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者一人ひとりの思いや希望を理解できるよう努めている、思いをうまく伝えられない方は表情やしぐさ、普段の会話から判断出来るよう努めている。	一人ひとりの生活歴を把握し、表情やしぐさ・目配り・心配りをして、思いや意向の把握に努めている。週刊誌や本・カタログショッピング等を活用して買い物をする等、本人の意向を家族にも相談し記録をとっている。意思疎通が困難な場合は家族や職員と相談し、本人本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者一人ひとりの生活歴を本人、ご家族の話しを聞くことにより把握し事業所としてどのように以前の暮らしに近づけるか検討している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	施設スケジュール主体ではなく入居者ご自身のペースで過ごせるよう一人ひとりの好み習慣や残存能力等の現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画作成時にご家族、本人の要望、希望を聞き職員の意見や気づきを参考にして作成している、又、モニタリングは3ヶ月毎に実施している。	本人や家族の意向を確認し、担当者会議で話し合い、主治医の意見も取り入れ、個々に応じた介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の介護や介護計画に反映させるため、入居者一人ひとりの状態や変化を日々記録し職員間で情報を共有しながら、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	適時、協力医院の24時間対応や往診、他科受診などの対応をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所のスーパーでの買い物や近くの公園までの散歩、デイサービスの敬老会参加などの支援を行い安心して楽しめるよう努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	同一敷地内にある母体病院への受診付添や他科受診時のご家族の同伴、職員の付添など状況に応じて対応している。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。皮膚科や眼科はかかりつけの医療機関へ行っている。歯科は訪問診療である。協力医の週2回の往診があり、施設長が薬剤師・管理者が看護師であるため、薬の管理や健康観察もできている。緊急時の対応などの連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>施設長が薬剤師、管理者が看護師であるため、相談しやすく介護と医療の両面から入居者を支える体制が整っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入居者が入院された際は母体クリニック主治医よりの紹介状や各病院とサマリー交換や情報提供を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>既に何件もの看取りを行い重度化に伴う終末期については母体病院と薬剤師である施設長、管理者、職員が連携し、本人やご家族の意向を随時確認しながら支援する体制が整っている。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴い本人や家族の意向を随時確認しながら、母体医療機関と施設長・管理者・職員が連携し家族と方向性を共有できるよう支援体制が整っている。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故発生時のマニュアルを参考にして勉強会や訓練をしている、応急手当は主治医より指導を受け実践力を身につけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災などの災害時には地域住民に協力を頂けるようお願いしている、避難訓練は昼夜間に対応した方法を訓練している。</p>	<p>年2回消防署立会いのもと、昼夜想定避難訓練を同じ建物内の同法人事業所と合同で実施している。各事業所間の協力体制もできている。梯子車による3階からの避難模擬訓練も行っている。コンビニや住宅が隣接しており、日頃から災害について、声かけており双方が協力している。災害時の水や米・塩・梅干し・乾物等の備蓄がある。消火器や通報装置・避難経路の点検も実施している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の人格を尊重しプライバシーを損なわず、否定的な言葉を使用しないよう徹底しミーティングで話し合い研修も行っている。	利用者の人格を尊重する言葉かけや対応に留意している。ミーティングや勉強会を開催して職員の資質向上に取り組んでいる。言葉づかいに注意し、友達言葉は使用しない、入浴介助等は本人の気持ちを大切にす等、プライバシーを損なわないように対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中でケアを優先することなく本人が何をしたいか確認し、また表情やしぐさで思いを受け止められるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の生活を本人の希望に沿って（テレビを観る、居室で過ごす）本人のペースを大切にしてお過ごして頂いている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	髪のカットは御家族の許可を得て職員が本人の希望・個性を大事にしたかたとを心掛けて行っている、またご家族と理髪店に行かれる方も居られる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は個々に合った大きさに食べやすく切ったり、軟らかく炊いたり、目でも楽しめるように彩りや盛り付けを大事にし、又一緒に食事前の準備や片付けなど行っている。	食材は1日30品目を目標に調理している。嗜好に配慮した献立や食事形態を工夫している。食事前の嚥下体操を毎日行い、口腔ケアも大切にしている。利用者は準備や片づけを職員と一緒にしたりしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスは一日30品目を確保するよう献立作成し、また、入居者の体調や状態を観察しながら調整を行い水分も必要量摂れるよう努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりに合った口腔ケアを支援している、就寝時は義歯洗浄を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	本人の状態にあわせ居室でもポータブルトイレを使用したり定期的なトイレ誘導を行っている。	排泄チェック表を使用して排泄パターンや習慣を把握し、声かけや誘導でトイレでの排泄を支援している。ポータブルトイレ利用者もいる。水分調節などにも配慮し自然排便と排泄の自立を支援している。パット使用から布パンツに改善した利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	散歩やレクなどの適度な運動や水分補給、ヨーグルトなど工夫し自然排便に取り組んでいる、それでも困難な時は主治医に相談している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	日曜日以外は入浴の準備がされている、職員はバイタルを観て声掛けを行い、拒否ある時は無理強いせず、再度声掛けするか翌日にしたりと、気持ちよく入浴できるようにしている。	入浴は基本的に週3回であるが、希望や体調に合わせて、柔軟に対応している。入浴を拒む利用者には気長に声かけをしたり、翌日に変更するなど、入浴を楽しめるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人の気持ちを尊重しペースに合わせて食堂のソファや居室にてくつろいでもらい昼寝ができるよう見守り対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は個々の薬の目的を周知しており正しく服薬が出来るよう支援している、薬の変更がある場合はその都度、話し合いの場を設け服薬もれがないよう記録している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>入居者一人ひとりが楽しみごとや得意な物を見い出せるよう支援している。(テレビ雑誌・園芸・掃除・レク・洗濯タタミなど)</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>歩行や外気浴など本人の気持ちを尊重し体調を観ながら実施している、外出はご家族の協力を得て本人の希望に応じて外出ができるよう心掛けている。</p>	<p>日常的には、近くの公園まで散歩や買い物に出かけたりしている。計画を立てて、地域の行事や花見・ドルフィンポート・木市などへ外出できる機会を作っている。家族の協力で外出や外食・墓参の支援をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在、お金の自己管理をしている方はおられないが、希望があれば職員と一緒にタイヨーなどに買い物に行き好きなものを買ってもらえるようにしたりと一緒に管理が出来るように配慮している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人自ら電話をしたい希望があれば連絡をとり、ゆっくり話ができるように配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を食堂、玄関に飾ったり、行事毎にひな人形や鯉のぼりなどを飾り季節を感じて頂けるよう配慮している、日差しはカーテンで小まめに調整し窓の開閉で温度・湿度・換気を行っている。	共用空間は広い窓から風景が眺められ野鳥も飛んで来て、季節を感じ入居者を和ませている。カーテンで日差しの調節をし、採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。ホールにはひな人形などを飾り、季節を楽しめる。ソファがあちこちに置かれて好きな場所で過ごせるようになっている。食事の時間には懐かしい音楽を流すなど、居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとりのペースで居室で過ごしたり、食堂で気の合った同士で話しが出来るよう雰囲気づくりに努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で慣れ親しんだものを持ち込んで頂き、居心地よく過ごされるように配慮している。	居室はベッドや洗面台・整理タンスが設置されている。寝具や時計・写真・レクリエーションで作った作品など、本人が使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者一人ひとりの身体機能を活かせるようトイレや浴室にある手すりなどを使い安全に安心して移動が出来るように工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない